
少女と獣と威圧感

八月一日

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少女と獣と威圧感

【Nコード】

N8005Z

【作者名】

八月一日

【あらすじ】

持つて生まれた【支配する力】。人を危険に晒したくないが為に喋ることをやめた普通の少女。ある日公園に倒れていたドでかいライオンを見つける。そのライオン、異世界からきて、人にもなれて、魔法も使えて、なにより【支配する力】が効かなくて・・・！？

―――
(前書き)

はじめて書きます。生暖かい眼でみてください

――

「この地で戦を行っている全軍に告げるッ！！！！【止まれ】！！そして、【黙って聞け】！！」

それは、この世界に降り立った支配者。

「我が名はナデシコ！！ナデシコ・ヴェイヴァルグ・フィルポネカ！！炎の怪物アーレフ・ヴェイヴァルグ・フィルポネカのつがい！万物の支配者である！今ここに宣言する！【このくだらない戦争を終わらせる】！！」

彼女の詞は何をも支配し、

彼女の望は誰をも魅了し、

彼女の愛は神をも羨む。

彼女の宣言に従わない者など居ない。

「イエスッ！マイ・ロードッ！！！！」

戦をしていたどの身分の人間、獣も彼女の前では平等に等しい。

・・・そして

「アーレフ。」

「うん？」

「【吼えて】」

「はいはい~~~~~ - - - - - ツ!!!!!!!!!!!!!!」
「！」

つがいのおれには言葉^{めいれい}が効かない。

おれだけの特権

神に許されたおれだけの特権。

力のない彼女を守るのはおれだ。

命令という能力しかない彼女を守るのは、おれなんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8005z/>

少女と獣と威圧感

2011年12月25日18時50分発行